

令和5年度 とやま新時代創造創造プロジェクト学習推進事業
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	19
学校名	富山県立富山南高等学校

学校の現状と課題	本校では、校訓「自ら 学び 思い 律する」のもと、「志高く創造性豊かな実践力のある人間を育成する」を教育目標としている。多くの生徒は温和で良識を有し、国公立大学や難関私立大学への進学を希望し、さらに学習と部活動を両立させようと努力している。そこで、主体的な学習生活を確立させるための指導法を工夫することによって、積極性を身につけ、忍耐力や集中力を持続できる生徒の育成に努めること、自分の生き方、将来の職業、進学目的について十分考える機会を設けることにより、学ぶ意欲を高めることを課題として取り組んだ。	
テーマ(特色)	主体的に学習する強い意志とその実行力のある生徒の育成	
設定した「テーマ」の達成状況	生徒の学習到達度や興味・関心等に配慮し、「主体的・対話的で深まる授業」を行うとともに、主体的な学習習慣の確立を目指しいろいろな取り組みを行った結果、生徒の学習意欲を高めることができた。アメリカ等の高校生との交流および国際関係行事を通して海外の実情等を知り、これから自分たちがなすべきことを深めさせることができた。また、進路探訪という名のもと、1学年は社会人講話および13職種の分科会、2学年は県内の大学見学・企業訪問を行い、進路意識の早期の確立に努めた。生徒のアンケート結果からは働く意義の理解や進路意識の向上をみる事ができた。さらに本年度は、2学年で企業や自治体の担当者より課題提示を受け、解決策を探究し、発表後、担当者より審査・評価をしていただく課題解決型の学習に力を入れた。これにより、社会が求めている能力と自己の力量との距離を知る機会となり、思考力および実践力の向上につながった。また、高校3年間を見通した計画的、継続的な指導体制を構築し、国公立大学や難関私立大学への進路達成を着実に支援することについては、学校全体で取り組んでおり、より一層の充実を目指すことができた。	
実施内容 (具体的に記入する)	<p>1 学習意欲・学力の向上のための授業改善</p> <p>(1)「主体的・対話的で深い学び」、ICT等の教員の指導力向上のための研修プログラムへの参加1 授業改善等による学習意欲・学力の向上</p> <p>(2)授業力向上のための校内研修等の実施 全校教員による互見授業および生徒アンケートを実施し、授業改善に取り組んだ。</p> <p>2 生徒の進路達成のために、高校3年間を見据えた実効性ある指導体制の構築</p> <p>(1)大学との連携による意識の啓発 進路探訪において大学見学や大学の先生による講義の聴講および企業訪問を行い、時代の最先端の事柄に触れることによって、自己の進路について考えた。</p> <p>(2)先輩(大学生)に学ぶ会の開催 本校卒業生との交流を等して、進路や学習に関する見識を深めた。</p> <p>3 グローバル人材の育成</p> <p>(1)外国人講師による講演や実習 民族間の考え方や文化の違いを知り、そのことを自国理解の深まりにつなげた。</p> <p>(2)サンディギート高校などとのオンライン交流と海外研修 自己発信力の向上につなげた。</p> <p>4 総合的な探究の時間の活用</p> <p>・県内の大学から講師を招き、課題設定の方法、仮説の立て方、研究の進め方、情報収集の方法、研究成果発表方法を学んだ。</p> <p>・自治体より具体的な課題を提示していただき、課題解決に向けての調査・研究、県内企業での訪問研修を通して、自分の意見をもち、意見を出し合い、まとめ、発表する活動を通して、自らが思考力や実践力などを身につけるよう取り組んだ。</p>	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<p>1 授業改善等による学習意欲・学力の向上について 教科別に新学習指導要領に対応すべく研修会を開催し、観点別評価に関する理解と公平・公正な評価に向けた協議を深めることができた。また、互見授業および生徒アンケートを実施し、授業改善に繋げた。特に全教員がICT教育に取り組む、対面授業にもICTを取り入れることが多くなった。また、教員研修にも参加するなどし、授業に活かされている。</p> <p>2 生徒の進路達成のための高校3年間を見据えた実効性ある指導体制の構築</p> <p>1・2学年の各「進路探訪」を中心に、1学年は社会人講話および13職種の分科会、2学年は大学・企業や官公庁等での見学・実習により、進路意識の高揚と職業への関心が高まった。</p> <p>3 グローバル人材の育成</p> <p>広い視野から課題設定し、仮説の検証、研究成果と今後の課題をまとめる一連の研究の進め方を身につけることができた。1年生はSDGsの17のゴールに焦点を当てて、対話や議論を通じて自分の考えに根拠を持たせて伝えるとともに、他者の意見も尊重して聞き、その考えを理解する取り組みができた。その際、企画した講演や実習によって、生徒が見識を広め、多様な考えを尊重する機会としてたいへん有意義であった。2年生は、昨年度より引き続き、自治体の担当者から課題の提示を受け、企業訪問での研修を経て、解決策を探究し、提案をした。発表後、担当者より率直に審査・評価をしていただくことにより、社会が求めている能力と厳しさを知る機会となり、思考力および実践力の向上につながった。また、サンディギート高校生や北アイルランドの高校生等とのオンライン交流を通して、自己発信力の向上にもつながった。</p>	
対象者(学年・人数など)	全校生徒・全教職員	
実施実績	4月	
	5月	互見授業実施(授業改善と教材研究の深化を図る)
	6月	企業より講師を招き、探究的な活動に関する研修の実施(1年、2年) サンディギート高校との交流(3月まで随時実施)
	7月	互見授業実施(授業改善と教材研究の深化を図る)、国際理解のための講演会(国際コース) 進路探訪大学・企業訪問研修、先輩(大学生)に学ぶ会(2年)
	8月	富山市との探究的な活動に関する研修の打合せ(2年)、進路探訪(社会人講話と座談会)(1年)、 北アイルランド事前研修
	9月	企業より講師を招き、探究的な活動に関する研修の実施(2年)、 北アイルランド研修(SERCでの探究活動の研修、2年国際コースより生徒を派遣)
	10月	アメリカ海外研修(サンディギート高校)事前研修開始(3月まで随時実施)
	11月	互見授業実施(生徒が主体的・対話的に取り組む授業の実践および効果的にICTを活用した授業の実践) 県内企業を訪問し、探究的な活動に関する研修を実施(2年、1年)、元国連職員による講演と座談会 外国人講師による研修(来校した北アイルランドSERC教員による)
	12月	県内の大学より講師を招き、探究的な活動に関する研修の実施(2年)、県内の大学より講師を招き、英語での発信力と相互に理解する力の育成する研修、外国人講師による異文化理解の研修の実施(国際コース)
	1月	富山市より講師を招き、探究的な活動に関する研修の実施(2年)
	2月	
	3月	県内の大学より講師を招き、探究的な活動に関する研修の実施(2年)